

(仮称)小金井市貫井北町地域センター建設基本設計  
[概要版]



## ■はじめに

小金井市には貫井南センター、東センター、緑センターの3つの地域センターがあり、地域住民の生涯学習の拠点として、また、市民の憩いの場として機能しています。現在計画している(仮称)貫井北町地域センターは、図書館と公民館を中心とした社会教育施設であり、市内4つ目の地域センターとして位置付けられるものであります。

また、地域センターとしては、20数年ぶりの施設建設であり、市民待望の施設であるとともに、本市としても長年の悲願であった施設でもあります。

本センターの建設に当たっては、基本設計等委託をプロポーザル方式により(株)前川建築設計事務所を選定しました。平成22年7月より基本設計に着手し、また、市民の声を十分に反映した施設を建設することから、市民検討委員会を設置し、検討委員、設計者及び市担当職員の3者で検討を行いました。

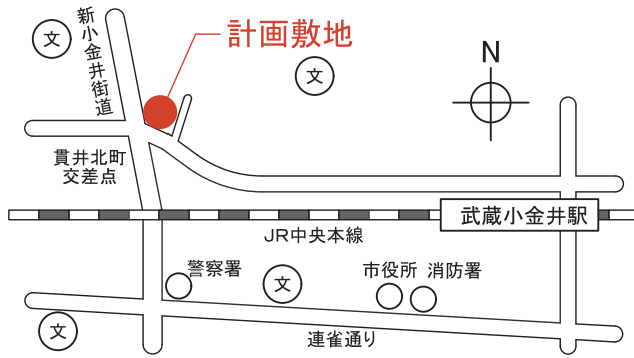
主な重点内容は、環境への配慮や、ユニバーサルデザインの視点を重視した設計、また、市民の声を配慮した効果的、効率的な施設を目指すことを目的に進めてまいり、この度、基本設計概要版を作成いたしました。

今後、この基本設計を実施設計に生かすとともに、市民が望む施設建設を進めてまいります。

## ■建築概要

名 称	(仮称)小金井市貫井北町地域センター
計画敷地	小金井市貫井北町1丁目587番10 (地番)
主要用途	図書館・公民館
敷地面積	1,740 m <sup>2</sup> (北一会館を除く)
建築面積	1,138 m <sup>2</sup>
延床面積	1,985 m <sup>2</sup> (1階 951 m <sup>2</sup> 、 2階 1,034 m <sup>2</sup> )
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階建
最高の高さ	9.8 m
最高の軒高さ	9.8 m (一部: 6.9m)
用途地域	第1種住居、第1種低層住居専用
防火地域	準防火地域
高度地区	第2種高度地区、第1種高度地区
日影規制	4-2.5 時間、 3-2 時間 (緩和規定適用)
道 路	西側 都道248号線(幅員20m)、南側 都道136号線(幅員16m) 東側 市道20号線(幅員4m)
建蔽率/容積率	60(角地 70)/200 %、 50/80 %

## ■配置計画



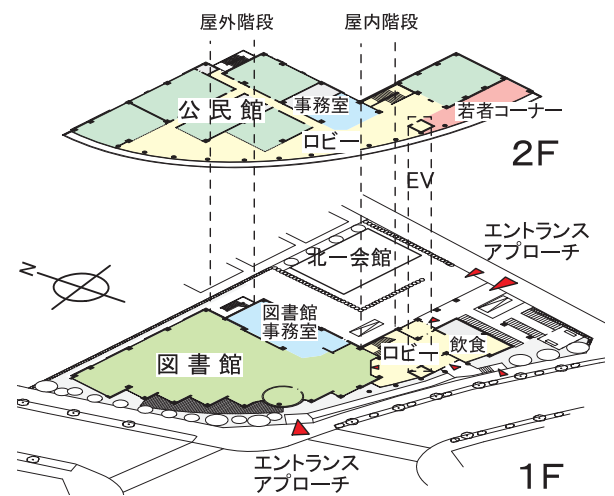
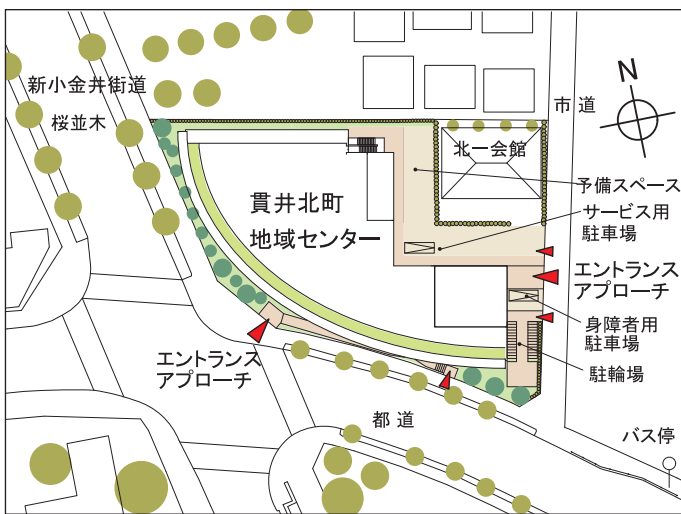
### [ 立地条件 ]

JR武蔵小金井駅の西北に位置し、駅から徒歩でも気軽に来館できる距離にあります。

西側、南側、東側の3方を道路に面し、北側は北一会館、民家及び生産緑地に隣接します。周囲には、保育園、幼稚園、小学校、中学校、大学があります。

### [ 建物配置 ]

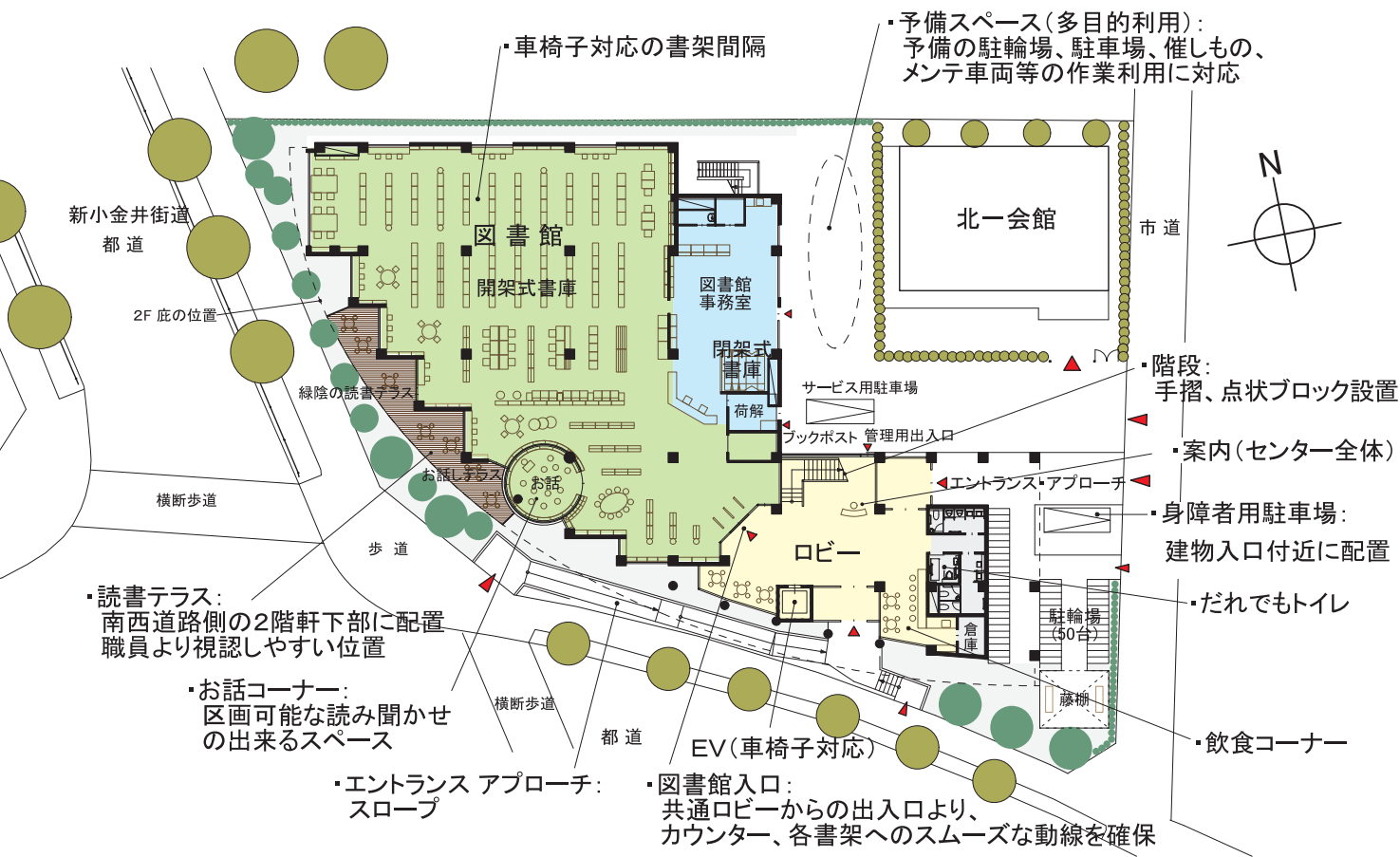
- 主要用途の図書館と公民館を各階ごとにまとめた2階建ての構成にしました。利用勝手、ユニバーサルデザイン計画の視点や、管理運営上有利としました。建物南西側は道路形状に沿った曲面の特徴ある形状とし、敷地を有効活用しました。周辺に対する環境等の配慮として、接道緑化や北側隣地との建物間距離をとりました。
- 建物内への進入動線は、東側と南側の2箇所にて設けました。
- 駐輪場は、50台配置します。駐車場は、身障者用1台、サービス用1台配置します。交通の便のよさ、近隣住民への配慮、建物内部機能の充実等から一般利用者用駐車場は設置しません。多目的に利用可能な予備スペースを確保し、予備の駐輪場、駐車場や、催しもの、メンテ車両等の作業利用に対応します。



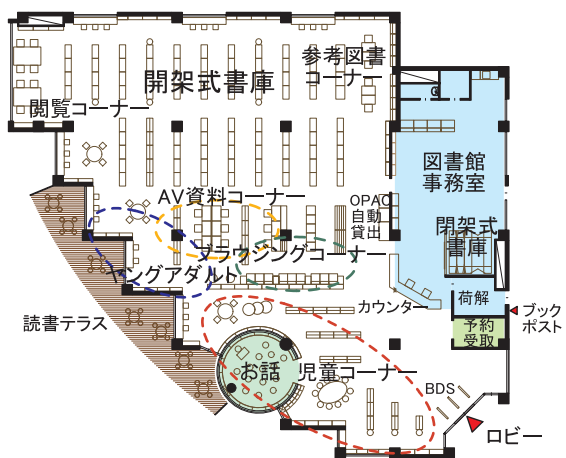
### [1階に共通ロビーと図書館、2階に公民館を配置]

- 公民館部門の利用者は事前に目的をもって来館する人が多く、図書館部門は開館中は自由に利用可能です。道路を通行する人々から、建物内部が視認しやすい図書館部門を1階に配置することにより、利用状況がわかり、建物内に入り易い雰囲気づくりが出来るようにしました。
- 共通ロビーを東側及び南側道路からの進入動線の交点に配置し、センター全体の案内を行います。2階の公民館部門へは、屋内外からも視認しやすいタテ動線(階段、EV)を配置しました。共通ロビーの南東道路側に飲食コーナーを配置しました。
- 屋上は、採光換気用屋窓、屋上緑化、設備機器、太陽光発電パネルの設置に利用し、安全管理、近隣への配慮等より、一般者の利用は行いません。
- 避難計画は、屋内階段と屋外階段による明確な2方向避難ルートを確認しました。

## ■平面計画 1階(図書館部門)



図書館レイアウト(パターンA)



図書館レイアウト(パターンB)



### [ 図書館 専用部分 700㎡ ]

- ・蔵書数: 開架書庫 ≥ 55,000冊 (基本比率 一般用 3 : 児童用 1)  
将来の要望にあった比率を検討していきます。  
閉架書庫 ≥ 5,000冊
- ・一般書架は6段、児童書架は4~3段とし、AV資料書架は将来の要望にあった媒体に合わせて検討していきます。
- ・各コーナー配置は、入口廻りに児童コーナー、奥に一般書架、閲覧、参考図書コーナーとします。ただし、上記レイアウト(パターンA・B)に示してあるブラウジングヤングアダルト、AV資料コーナーについては、児童コーナーとの配置により、検討していきます。
- ・将来導入予定設備対応として、BDS(図書紛失防止装置)、自動貸出機、予約受取コーナーの配置スペースを確保します。
- ・図書館事務室は、十分な作業スペースを確保し、市民参加による作業室の配置についても検討していきます。



図書館のイメージ

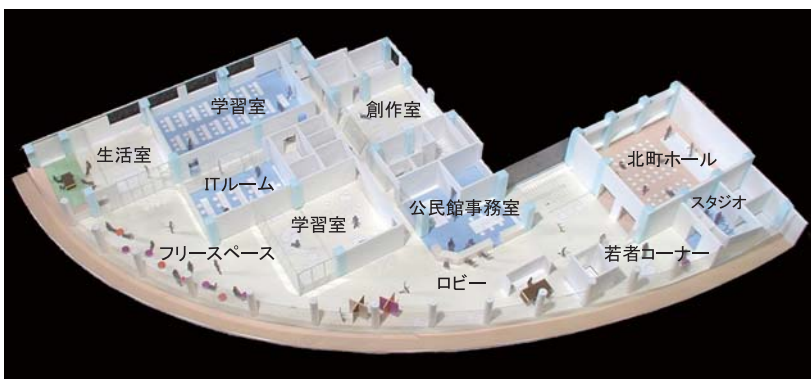
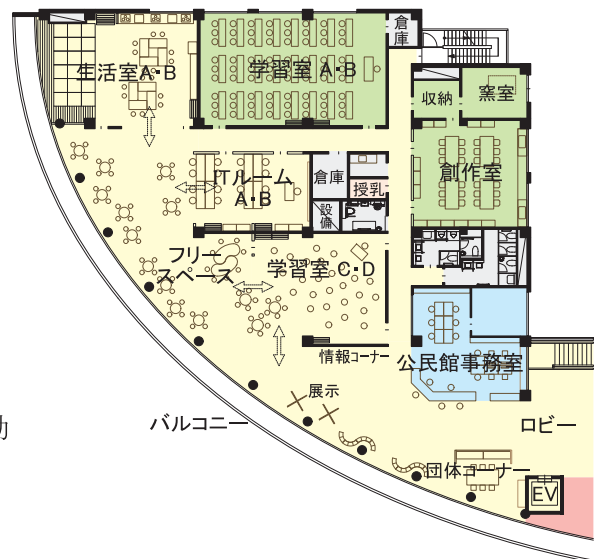
## ■ 平面計画 2階(公民館部門)

- 生活室A・B(35+40=75㎡):  
A 保育室利用  
B 調理(調理台は壁側に配置、打合室利用対応)  
+ フリースペース連携可能
- ITルームA・B(20+20=40㎡):  
講座、学習、打合、集会  
スペース+ フリースペース  
連携可能
- フリースペース:  
ロビーの延長線上に、予約なしで利用可能 な区画の無い広いスペースを設ける打合コーナーや、可動間仕切壁により各諸室と連携しての利用が可能
- 学習室C・D(27+38=65㎡):  
集会、講座、学習、簡易な視聴覚室  
+ フリースペース連携可能
- 車椅子対応の廊下幅
- 学習室A・B(54+40=94㎡): 遮音性を考慮した室  
集会、講座、学習、視聴覚室
- 授乳室
- 創作室(80㎡: 窯、収納共):  
絵画、工作、陶芸、科学等  
(流し台は壁側に配置、打合室利用対応)
- 公民館事務室  
1階共通ロビーから階段及びEVIにて公民館ロビーに入出入りする利用者が視認しやすい位置及び、中央部に配置し、案内相談カウンターは高さが低い形状の開放的な設えとする
- 北町ホール(100㎡):  
遮音、振動音を考慮した多目的スタイル  
集会、講座、視聴覚室、演劇、ダンス、軽体操
- だれでもトイレ:  
オストメイト対応
- EV(車椅子対応)
- 休憩、展示、情報コーナー及び、  
各行事の準備作業が行える  
団体コーナーをオープンで設ける
- 若者コーナー(62㎡):  
青少年施設 ロビーとオープンで繋がる  
スタジオ(電気楽器演奏音対応)

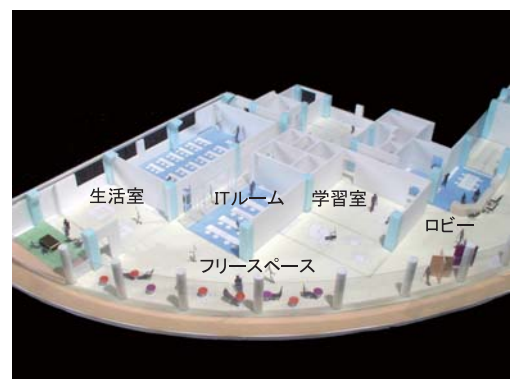
### [ 諸室の構成・設え ]

- 必要諸室は、面積が100㎡程度の広めの室を2室確保しました。フリースペースと隣接する諸室は、可動間仕切壁により連携可能としました。各種催しもの開催時などに一体的な広い面積を活用できます。
- 利用上、音や振動が発生する諸室(スタジオ、北町ホール、創作室)は、1階図書館閲覧部に影響が出にくいように、閲覧部上部を避けた平面位置に配置しました。
- 諸室と共用部の境壁は、遮音性の必要性が低い室は、室内の活動の様子が見える透明ガラス素材を採用し、必要に応じてブラインド等にて目隠しが可能な設えとします。各諸室内の可動間仕切壁は、不透明素材とします。また遮音性を考慮する諸室も出入口扉は、使用の有無がわかるようにガラス入りとしました。

### 諸室の可動間仕切壁をOPENにして利用 フリースペースとの連携



公民館のイメージ

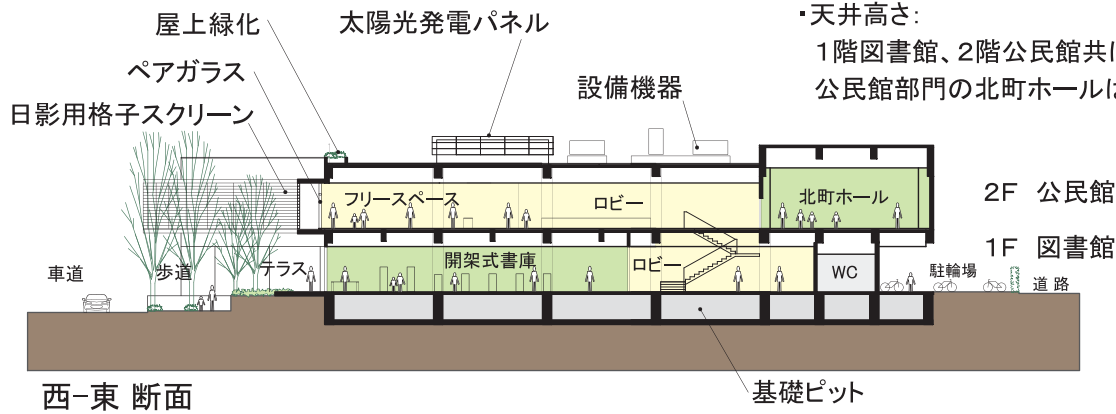


フリースペースとの連携のイメージ

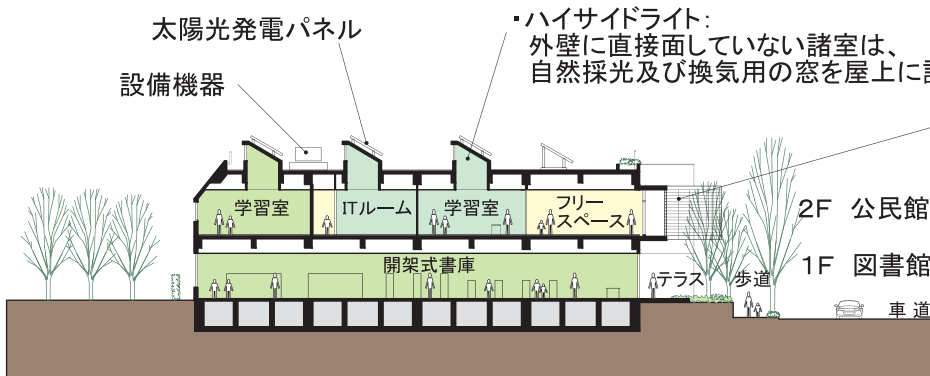
## ■ 断面計画・立面計画

- ・建物高さ：  
日影緩和規定適用より、建物高さを10m以下、一部軒高さ7m以下とする。

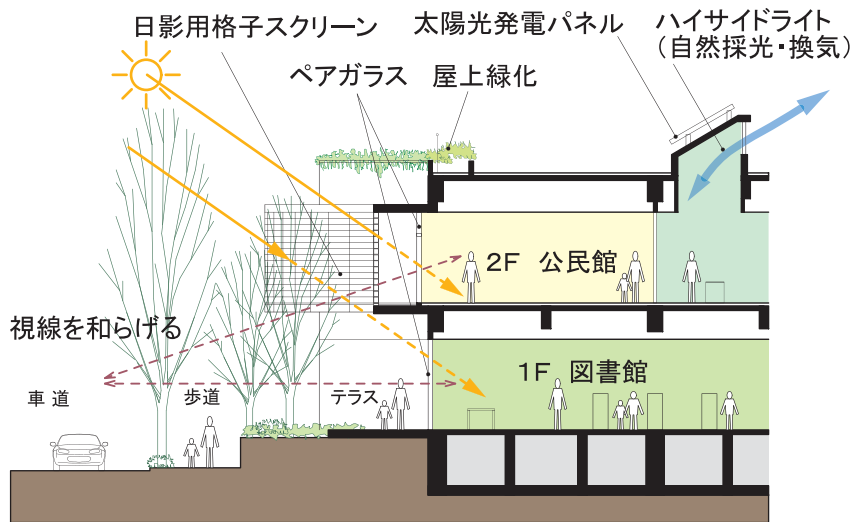
- ・天井高さ：  
1階図書館、2階公民館共に基本的に3m以上、公民館部門の北町ホールは4m以上確保する。



西-東 断面



北-南 断面



2階 公民館フリースペースから外部を望む日影スクリーンのイメージ

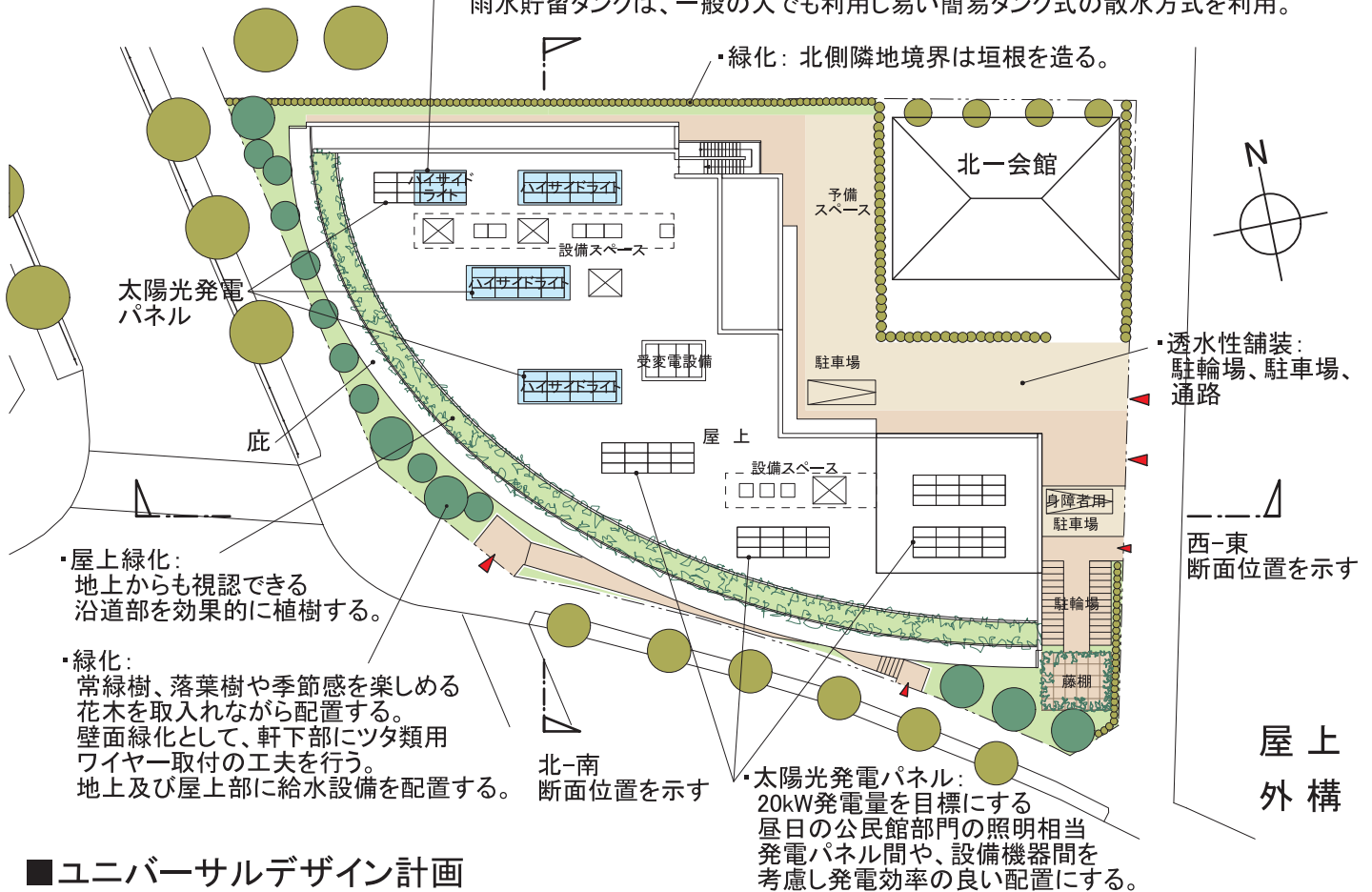


外観のイメージ

## ■環境配慮

### 建築上の工夫：

- ・ハイサイドライトや操作し易い開口部により、自然エネルギー（自然換気、自然採光）を積極的に取入れる。
- ・外部日影用格子スクリーン、ペアガラス、断熱材、遮熱塗料による空調負荷の軽減。再生建築材料の利用していく。
- ・屋上雨水利用・雨水浸透施設：  
浸透樹、透水性舗装を採用。  
雨水貯留タンクは、一般の人でも利用し易い簡易タンク式の散水方式を利用。



## ■ユニバーサルデザイン計画

- ・福祉の街づくりの条例に基づき計画しました。

建築上の工夫として、図書館と公民館を各階ごとにまとめた2階建ての構成。建物全体の平面構成がわかり易い位置にロビーを配置しました。

- ・各諸室に繋がる、広い共用スペース(2階フリースペース)を配置することによる、スムーズな動線計画にしました。

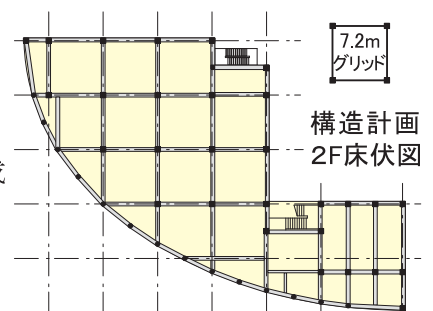
## ■設備計画

電気設備、空調・換気設備、給排水衛生設備、昇降機設備

- ・シンプルなシステムとし、維持管理の容易化、省力化を図り、メンテナンス性を考慮したスペース確保を行いました。
- ・省エネに配慮し、照明点灯及び空調運転ゾーン区分を行います。WCは人感センサー、節水対応を行いました。
- ・空調・換気設備は、熱回収型の外調機を系統別に屋上に設置し、省エネと良好な室内環境に対応しました。
- ・給水設備は、水質と維持管理の容易化を図るため、水道直結加圧ポンプ式を採用しました。
- ・各設備(空調、給湯、調理、陶芸窯)は、使用範囲と安全管理面より電気式としました。
- ・インターネット環境は、無線LANにより対応予定です。
- ・昇降機設備は、13人用を1台設置しました。(福祉の街づくり条例対応)

## ■構造計画

- ・架構形式は、鉄筋コンクリート造の柱と梁で骨組みを造り、その接合部をしっかりとつないだラーメン構造です。柱は7.2mグリッドを基本として形成した経済的なサイズです。
- ・室内の間仕切壁は改修や更新が可能な非構造壁とし、構造に影響なく平面計画が出来ます。



小金井市  
イメージキャラクター  
こきんちゃん



© Studio Ghibli

---

(仮称) 小金井市貫井北町地域センター建設基本設計  
[ 概要版 ]

発行 2011年(平成23年)3月

編集 (仮称) 小金井市貫井北町地域センター建設市民検討委員会  
株式会社 前川建築設計事務所

小金井市教育委員会 〒184-8504 小金井市前原町三丁目41番15号

---

お問い合わせ

小金井市教育委員会 生涯学習部 公民館

〒184-0012 小金井市中町四丁目15番14号 福祉会館3階

TEL 042-383-1184、FAX 042-387-1226

E-mail : k020401@koganei-shi.jp

小金井市ホームページ <http://www.city.koganei.lg.jp>

---

※古紙を配合しています